

お城文化

発行:安城文化協会 〒446-0041安城市桜町17番11号(へきしんギャラクシープラザ内) **電話・FAX** 0566(74)6066
✉ info@anjo-bunka.org **HP** <https://anjo-bunka.org>



新年明けましておめでとうございます

「天馬行空」——天馬は、天界の天帝が乗るとされる空界を駆けることのできる馬。空界を天馬が駆ける様子から、考

飛べたのでしょうか（笑）。因みに、私は翼を描き込みましたが、翼なくして飛んでいい馬を描くことは出来ないところ、単に能力的な問題からです（笑）。

え方や行動が自由奔放で何ものにもとらわれない、また、詩文や書の筆遣いに勢いがあるさまなどを表現する言葉です。（出典 刘廷振「薩天錫詩集序」）私たち安城文化協会も、そうありたいもので、色紙「天翔ける馬」を掲載させていただきましたが、実は、ギリシャ神話に登場するペガサスも天馬と呼ばれ、翼を持つています。一方、東洋

日本の神話や伝説に登場する天馬は必ずしも翼を持つているわけではありません。例えば、日本の聖徳太子が乗っていたときれる天馬は、翼が無かつたにもかかわらず空を飛ぶことができたと伝えられています。その能力は、神的な力や靈的なものと考えられていますのでしょう。国宝『聖徳太子絵伝』には、「富士山を飛び越える太子と愛馬・黒駒」が描かれています。国宝になつてゐるくらいですから、本当に



2026

文協春まつり

2月13日(金)～15日(日)／へきしんギャラクシープラザ(安城市文化センター)
皆さんのお越しをお待ちしております

◆文化協会選抜展◆

- 期日・時間
13日(金)・14日(土) 9時～17時
15日(日) 9時～16時
- 場所 大会議室(3階)
- 安城文化協会所属の作家の中から、運営委員会により推薦された方々の作品を展示します。
- 芸能等からの応援ライブを予定
14日(土)午前10時30分～筝曲
15日(日)午前10時30分～鑑賞アンサンブル
午後2時～ジャズ

◆ごあ展◆

- 期日・時間
13日(金)・14日(土) 9時～17時
15日(日) 9時～16時
- 場所 展示室2(3階)
- 安城文化協会幹事、事務局職員らの作品を展示します。
- 14日(土)はお抹茶サービス、15日(日)はコーヒーサービスがあります。

◆文化講演会◆

- 期日・時間
14日(土) 14時～15時30分
- 場所 講座室(1階)
- 演題「先達に導かれ、歩み続けた書家の道」
- 講師 横山 夕葉 氏

あけましておめでとうございます

監事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	相談役	〃	顧問	〃	〃	副会長	会長
井上俊一	加藤浩明	加藤りせ子	石川清幸	小山要子	稻垣英夫	丸山今朝三	佐野豊麗	石川良一	三星元人	杉山幸史	永井江美子	近藤義行	神谷恒行

監事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	理事	理事
吉田小夜子	牧久	伊奈治	中村誠一	待田和宏	竹内紫燕	神谷芳翠	山下祥石	清水均	矢田力三	石田靖浩	内藤華岳	香村愛子	横山夕葉

事務局長	副幹事長	幹事長	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	理事	理事
石川充	三浦久義	峯村敏	朝岡一秀	山本久子	谷崎正憲	杉浦和子	春日井彩由美	長澤さつき	沓名純子	木村恭子	山本昌子	木村恭子	山本昌子



おめでとうございます

◆第82回安美展

○グリーンリボン賞

・工芸・彫刻 鳩田 隆（安城）

○特別賞

・洋画 石川 清幸（安城）

・書 黒柳 景光（安城）

○部門大賞

・日本画 鳥居由花子（安城）

・洋画 清水 均（安城）

・書 近藤 華舟（安城）

・写真 岡川 経康（刈谷）

・工芸・彫刻 川上 堯由（知多）

安美展受賞者の喜びの声 (文協会員)

中部絵画サークル 清水 均

この度は歴史ある安美展におきまして、洋画部門大賞（愛知県知事賞）をいただき大変光栄に存じます。心から御礼申し上げます。これも長年ご指導いただきました中部絵画サークルの皆様方ほか関係各位のおかげと感謝申し上げます。



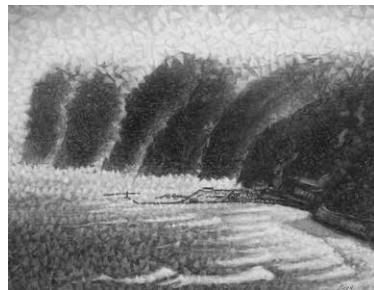
絵のモチーフは、直江津駅構内です。この駅は今では珍しくなった旧国鉄時代の雰囲気を残しており、私の好きな駅であります。タイトルの「始発」は、これから世の中がより良い方向に向かえばとの思いを込めたつもりです。出来るだけ冬の朝の臨場感が出せるよう心がけました。これからも絵を楽しみながら、良い絵が描け

るよう努力していきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻賜りたくお願い申し上げます。

磊 雅 会 石川 清幸

今回は思いもよらず、安美展特別賞（洋画部門）を賜り、有難く感謝申し上げます。

平成元年にグリーンリボン賞を頂いたころから委嘱～受賞作家（審査対象外）となるも、出品は欠かさず継続してきました。モチーフもヨーロッパから日本の景色に軸足は移しつつ、今般、特別賞の吉報が舞い込んできました。



受賞作「礼文の風」（油彩、F50）は、日本海の荒波に敢然と立ち向かう礼文島の岬を題材とし、単純な構図ではありますが“山・霧・風”的表現方法を模索しました。中でも霧の表現に、かなり乱暴ですがナイフを多用し鋭い三角形を敷き詰めることにより、今までにない緊張感を表現しました。

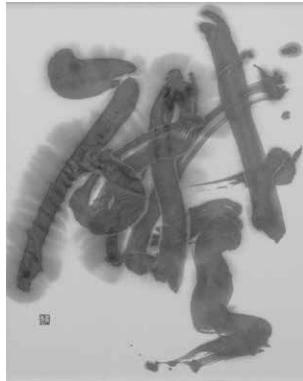
受賞は、偶然性でも必然性でもなく日ごろの継続性であり、感謝しかありません。

夕 照 会 黒柳 景光

今回の作品を書くとき、基本に返り、素直な気持ちで書けたらと「物事の土台」「基礎となる大事な物事」という意味の「礎」を選びました。

気持ちを込めて勢いよく書くことも必要ですが、日々お稽古している古典の臨書から学んだ基本の形を崩さないことも大事です。書

に限らず、何事も基礎がしっかりとしないと崩れてしまいます。



基本に戻り、新たな気持ちで書いてみました。何枚も書くうちに上手に書こうと欲が出て、形が崩れることもありましたが、言葉を選んだときの気持ちを大切に書きました。そして特別賞をいただくことができ、とてもうれしいです。ありがとうございます。今後もご指導、よろしくお願ひいたします。

会と催し

一文協後援のもの一

◎市民公募文化事業 描破～空白に描くステッチ～

1月21日(水)～25日(日) 市民ギャラリー

◎華道家元池坊いけばな池坊展

2月20日(金)～23日(月) アンフォーレ

◎第32回水曜グループ展(美術教室わかいめ会)

2月24日(水)～3月1日(日) 市民ギャラリー

◎第28回八彩会展

3月5日(木)～8日(日) 市民ギャラリー

◎装道木村会きものショー

3月7日(土)～8日(日) デンパーク

◎市民公募文化事業 第38回竹友会民謡と和太鼓発表会

3月8日(日) 市民会館サルビアホール

◎箏曲演奏会(こやま会)

4月19日(日) へきしんギャラクシーブラザ

◎第38回琴伝流大正琴発表会(碧美会)

4月19日(日) 碧南市芸術文化ホール

各グループの動向

退会

エル・フローラ

ギ ャ ラ リ ー

日展等で入選された本協会員の作品です。
日展名古屋展は、1月28日から2月15日まで
愛知県美術館ギャラリーで開かれます。



神谷 恒行 日本画《或る戯れ絵師の人生》



平松 弘子 工芸美術《朝朗け》



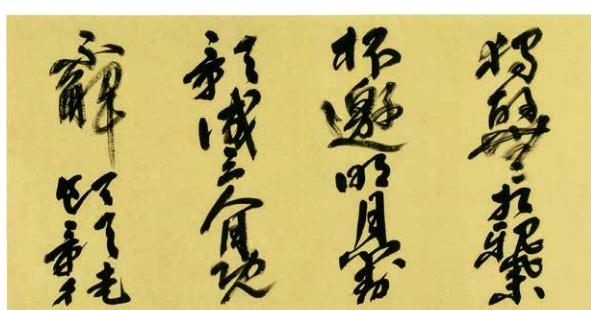
加藤 伴子 工芸美術《喜びの時》



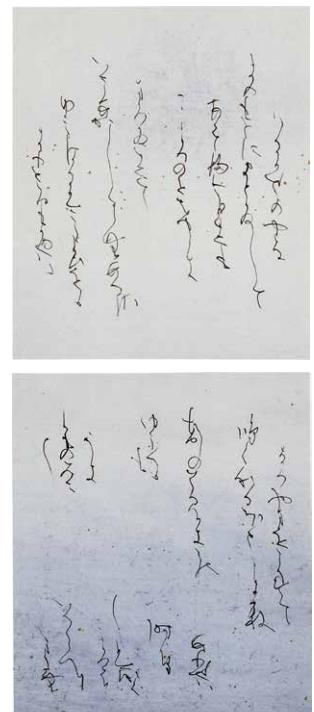
神谷 采邑
書《書簡》



神谷 光園
書《吟風》



福田 博芳
書《李白詩》



大崎水愁書『山里の四季』作品部分

仕事(巡回)を始めるまでは、一時間位は汗が流れます。ですが、それを超えると流れません。身体が暑さの限界を超えると、体温調整が出来なくなりました。以前、警備員の方が言つていたの思い出しました。

二か月半の猛暑との闘いで、したが、屋外での仕事で、四キロ痩せて、良いこともありました。しかし、自分には屋外の仕事は無理だと思い知られました。

とにかく、初物デビューやの夏物語でした。が、うちのアーコン「今大丈夫か。」M・M

昨年の夏、聞き飽きた程の猛暑日の中で、転職した仕事は、屋外の駐輪場の管理人で経験の無い夏との鬭いでした。それも、真夏の十二時からの仕事なので、家から出た途端、日差しは痛くて眩しくて、爺さんの自分は恥ずかしながらも、日傘デビューし、店員さんにUVクリームを選んで貰い、使い方も御指南してもらいました。職場でござれば、昌子は

リレー隨筆